

平成23年11月17日

日本古美術海外展「日本 仏教美術—琵琶湖周辺の仏教信仰—」の開催

文化庁では、平成23年12月から平成24年2月にかけて、大韓民国国立中央博物館（ソウル）において日本古美術海外展を開催します。

1. 開催目的

文化庁では、日本の優れた文化財を諸外国に紹介することにより、我が国の歴史と文化に対する理解の増進と国際親善の推進に寄与することを目的として、毎年、海外で日本古美術展を開催しています。

このたび、平成23年12月から平成24年2月にかけて、大韓民国国立中央博物館において、滋賀県にゆかりのある仏教美術の名品を展示し、両国の文化的交流を深めることを目的として、「日本 仏教美術—琵琶湖周辺の仏教信仰—」を開催することになりました。

2. 展示の概要

琵琶湖を擁する滋賀県には比叡山が聳え、日本仏教の中心地として主要な宗派の開祖たちが巣立ちました。このため仏教美術を中心に多数の文化財が伝えられており、国指定文化財の件数では全国4位となっています。

本展覧会は、日本と同じく、仏教美術が重要な位置を占める韓国において、日本を代表する滋賀県ゆかりの仏教に関連する彫刻・絵画・工芸品・書跡の名宝を紹介し、お互いの文化に対する理解を深めようとするものです。

なお、本展の出品作品の多くは、滋賀県下の文化財保護の拠点として50年を超える活動を行ってきた滋賀県立琵琶湖文化館に所蔵や寄託されています。

<担当>

文化財部美術学芸課

課長 栗原祐司（内線 2884）

主任文化財調査官 齊藤孝正（内線 2889）

国際文化財交流協力官 田中健太郎（内線 2885）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2884, 03-6734-2887（直通）

3. 主催者

文化庁、九州国立博物館、滋賀県、韓国国立中央博物館

4. 会期・会場

平成23年12月20日（火）～平成24年2月19日（日）

国立中央博物館（大韓民国ソウル市）

5. 出品件数

59件（うち国宝4件、重要文化財31件）

6. 主な出品作品

国宝	<small>すうふくじとうしんそのうちひん</small> 崇福寺塔心礎納置品	飛鳥～奈良時代	近江神宮
国宝	<small>けんぼんちやくしよくろくどうえ</small> 絹本著色六道絵	鎌倉時代	聖衆来迎寺
国宝	<small>きんぎんとすかしぼりけこ</small> 金銀鍍透彫華籠	鎌倉時代	神照寺
国宝	<small>こんどうきょうぼこ えいざんよこかわによほうどうまいのう</small> 金銅経箱 叡山横川如法堂埋納	平安時代	延暦寺
重要文化財	<small>もくぞうによいりんかんのんはんかぞう ぞうないないのうにゆうひん</small> 木造如意輪観音半跏像 像内納入品	飛鳥～奈良時代	石山寺
重要文化財	<small>けんぼんちやくしよくふどうみょうおうにどうじぞう</small> 絹本著色不動明王二童子像	鎌倉時代	成菩提院
重要文化財	<small>こんどうくじゃくもんけい</small> 金銅孔雀文磬	平安時代	園城寺
重要文化財	<small>こんしきんぎんこうしよほけきょう</small> 紺紙金銀交書法華経	平安時代	延暦寺



国宝 崇福寺塔心礎納置品
近江神宮



国宝 絹本著色六道絵
聖衆来迎寺



国宝 金銀鍍透彫華籠
神照寺



国宝 金銅經箱
延曆寺



重要文化財 木造如意輪觀音半跏像
像内納入品
石山寺



重要文化財 絹本著色不動明王二童子像
成菩提院



重要文化財 金銅孔雀文馨
園城寺



重要文化財 紺紙金銀交書法華經
延曆寺